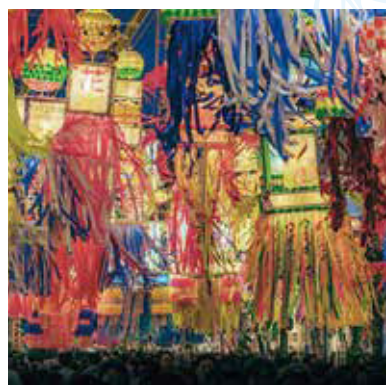




手をつなぎたくなる街
湘南ひらつか

HIRATSUKA
RECRUITING

2023



1年目職員 Q&A

平塚市で働く1年目の職員に
入庁前の思いや、入庁後に感じていることを
質問してみました。



災害対策課
米山 賢汰



保険年金課
黒岩 璃緒

職場の雰囲気やコミュニケーションは
どのように取られていますか？

優しく温かい雰囲気、先輩方へ質問しやすい環境です。困っているときは、周りの方が必ず助けてくださり、難しい仕事の後には労いの言葉もかけていただきました。同期とは励まし合える関係で、休日には一緒に出かけてリフレッシュしています。尊敬できる方々と働けることが、仕事のモチベーションにつながっています。



子ども家庭課
森田 恋乃

就職する前後で自分の思い描いていた
仕事とイメージのギャップはありましたか。

入庁前は「市役所の職員は堅そう」「具体的にどんな仕事をするのだろう」といったイメージや疑問を持っていました。実際に働いてみると、休憩時間には同期や先輩方と話が盛り上がるアットホームな雰囲気に包まれている職場でした。また、担当している仕事では、周りの課との連携で成り立つ市民サービスが多いということに驚きました。

仕事にやりがいを感じる時を
教えてください。

自主防災組織に対する支援や地域の防災訓練への参加など、自助・共助の促進に取り組んでいます。私は生まれも育ちも平塚市なので、このまちのために働けることに誇りを感じています。また、風水害や地震などの災害時には、市民の安心安全のために真っ先に動けることにやりがいを感じています。

民間企業社員と公務員の
違いはどこにあると思いますか？

私は民間企業から市役所へ転職しました。公務員は「全体の奉仕者」として、すべての人に対して平等にサービスを提供するなど、民間企業社員とは異なります。幅広い年齢層の様々な考えを持った方々と接し、市民の皆さん一人ひとりに寄り添い、問題や悩み事を解決していく、やりがいのある仕事です。



土木総務課
成田 駿

仕事とプライベートの
ワークライフバランスはhowですか？

前職は総合病院の看護師として勤務していたため、仕事終わりの時間を楽しむのは、体力的に少し辛かったのですが、転職してからは時間に余裕ができ、終業後の時間を楽しめるようになりました。同期や先輩と食事をしたり、ジムに行ったり、おうちでゆっくり映画や動画を観たりと、充実したプライベートでリフレッシュできています。



保育課
永野 空河



健康課
長谷川 李菜

平塚市の職員を志望した
動機を教えてください。

平塚市の豊かな自然環境で、子どもたちが伸び伸びと成長できるように心に寄り添い、保護者の方にとって子育てしやすいまちづくりに貢献したいという思いがありました。また、公立保育園には異動があり、平塚市の様々な自然環境の中で子どもたちの成長に携われるところにも魅力を感じ志望しました。



若草保育園
香取 咲柚

平塚市の職員を志望した
動機を教えてください。

中学生の頃、東日本大震災の復興活動へ参加した際に「地元へ貢献したい」という気持ちが生まれました。また、平塚市で自営業を営む両親とそこで出会った方々、街の雰囲気を見る中で「生まれ育った平塚市へ恩返ししたい」という思いが強くなりました。この気持ちが市民の方々へ届くように市職員として全力で取り組んでいきます。

Introduction of System

▶ワーク・ライフ・バランスの推進

全ての職員が、家庭生活を充実させながら仕事にもまい進することができ、その結果が市民サービスの向上につながるよう、様々な制度や職場環境を整備しています。

男性職員の取得者も
増えています。

●育児休業取得経験者の声

平塚市は、子育て世代が住みやすいまちを目指しており、市役所で働く職員にとっても、子育てがしやすい職場環境が整っています。実際に子育て関連の休暇制度を利用している職員は多く、近年では男性職員の育児休業取得者が増えています。

私も上司からの勧めが契機となり、育児休業を取得しました。1か月間の休業でしたが、子どもが生まれる前から「育児参加計画書」を活用し、休業中の業務の整理や引継ぎを計画的に行うことができたため、安心して育児に専念することができました。

女性の職員にとっても、子育て関連の休暇は取りやすい環境だと思えます。子どもが3歳になるまで育児休業を取得し、復職後にバリバリ働いている職員が多くいます。ここでは紹介しきれませんが、育児以外の休暇制度も充実しています。ワーク・ライフ・バランスを大切にしたい働き方をするには、最高の職場だと思えます。



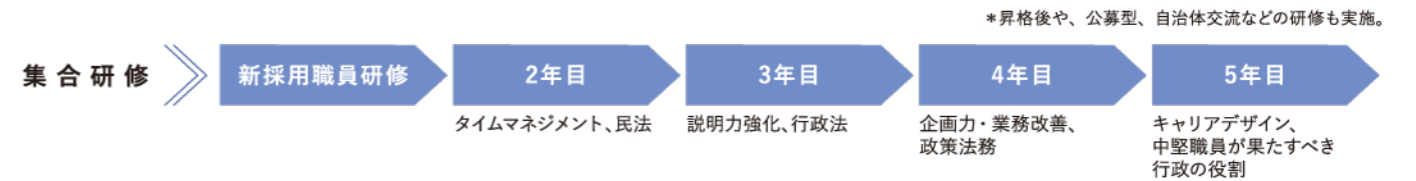
商業観光課
平成23年入庁 11年目
中村 隼輔

●子育て支援制度 (主なもの)

制度	給与	対象	
		男性	女性
産前産後休暇	有給	○	○
配偶者の出産休暇	有給	○	
育児参加休暇	有給	○	
育児時間	有給	○	○
育児休業	無給	○	○
育児部分休業	無給	○	○
育児短時間勤務	無給	○	○
子の看護休暇	有給	○	○

▶研修制度

社会情勢や平塚市を取り巻く環境の変化に対応するために、「市民と共に考え、何事にもチャレンジする職員」を目指すべき職員像として、研修を実施しています。採用から5年目までの職員は、行政職員としての必須能力のベースを築き、同年代の職員との交流を通して視野を広げるため、毎年度研修を受講します。



●採用後1年間の研修日程

研修名	研修内容	研修名	研修内容
4月期研修	仕事に取り組む姿勢やビジネスマナーを学ぶとともに、福祉や防災など公務員としての基本的事項も学びます。	12月期研修	地方自治制度・地方公務員制度を学びます。
6月期研修	まちづくりや税金の基礎知識など、職員としての基本的な行政知識を習得します。	3月期研修	入庁から1年を振り返り、2年目以降のスキルアップなどを考え、先輩職員となる準備をします。
9月期研修	入庁から半年を振り返り、グループワークを通して、仕事への姿勢を見直します。		

*消防職は別途となります。

◎ 研修以外にも同じ職場の先輩がサポート職員として指名され、仕事を通して業務知識や仕事のルール等を計画的に指導します。